

七高SSH通信

R6/3/15
令和5年度
第15号

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

令和5年度 福井県合同課題研究発表会

3月10日(日)、福井市地域交流プラザ AOSSA で「令和5年度福井県合同課題研究発表会」が行われました。この会は福井県の高校を中心に福井県外の高校なども加わった発表会です。口頭発表とポスターセッションを行ってきました。いろいろな発表を聞くことができ、とても参考になりました。

- ・「降雨による電波強度の減衰を利用した降水量予測」
坂本くん、大目くん、長谷くん、船塚くん
- ・「発酵度合の異なる3種の茶葉間での抗菌作用の違い
～特に抽出方法に注目して～」
木下さん、土島さん、中田さん
- ・「Pythonを用いたごいたの有効戦略の検証」
川田くん、河原くん
- ・「コンクリートの中性化を防ぐには」
鍋島さん、秦さん、羽多さん



化学工学会 学生発表会

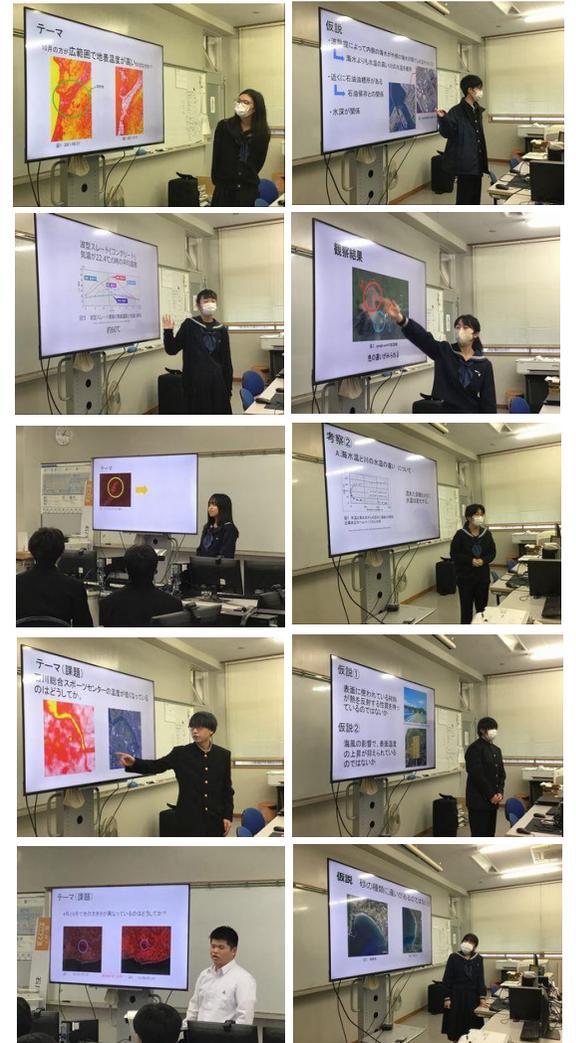
3月2日(土)に、オンライン開催された「2024年第26回化学工学会学生発表会」で発表した、本校26Hの石田さん、大島くん、中川さん、番坂くんたちの研究『剣道の面に繁殖する菌に対する消臭剤の効果』が、優秀賞を受賞しました。



自然科学研究Ⅰ(第1学年理数科)

「リモートセンシング」(12月15日)

リモートセンシングとは、物体を直接測定器などの機器によって調査することとは異なり、物に触らずに離れた場所から調査することをいいます。このユニットでは初めにリモートセンシングの基礎(用いる電磁波や人工衛星の基礎知識)の話の後、「ImageSat」によるサーモグラムの画像を利用した探究活動を行いました。サーモグラムによる石川県を中心とした温度地図をもとに、自分で設定した課題について、仮説を立てて、その検証を行い、結論をまとめました。そしてこの活動をPowerPointのスライドにまとめて発表を行いました。インターネットなども活用して必要なデータを集めるなどたくさんの工夫がありました。「地表温度に影響する要因」、「曲面状の屋根の温度」、「能登島大橋と温度」「中間赤外カラー合成での砂浜の色の違い」「波佐羅町の沈殿池」など様々な観点からの発表がありました。



JSEC2023

(第21回高校生・ 高専生科学技術チャレンジ)

「JSEC2023(第21回高校生・高専生科学技術チャレンジ)」で、本校36Hの亀くんの研究『アオリイカの表皮に存在する色素胞に対するホルモンの作用～in vitro バイオアッセイ系による解析～』が、入選しました。これは、金沢大学 GSC で取り組んできた研究で、「釣った時にイカの体色が変わるのはなぜだろうか」という疑問からスタートしました。根気強く観察し、その仕組みに迫ることができたことが評価されました。

